

# 一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

受 付	番号 12
	令和 6年 8月29日
	午前・午後 11時27分

議会名	令和 6 年 第 5 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 6 番 早 川 貴 光		
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示・資料配付・ <input type="checkbox"/> モニター使用)		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 人口減少社会における対策について  (1) 出生率について        (2) 結婚支援事業について	① 地域アプローチの取り組みによるデータ分析やアンケート調査において、本市の第1子の合計特殊出生率より第2子の出生率が高いと結果がでていますが、明確な理由について伺います。  ② 少子化対策として様々な取組をしていますが出生率に対してどのような影響を与えているのか伺います。  ③ 佐野市として目標とする出生率について伺います。  ① まちなか婚活推進事業についての成果について伺います。  ② 農業後継者結婚推進協議会支援事業の成果について伺います。  ③ 結婚支援事業の取組について当局としての評価をお伺いします。		

<p>(3) 出会いから結婚生活までの伴走支援について</p>	<p>① 今後の結婚支援の取組の課題として、結婚に対する不安感を払しょくするための明確なライフプランを描けることができる取組について調査研究を進めるとしているが、さらに前倒しをして出会いの部分から伴走する必要があると考えますが、当局の見解を伺います。</p>
<p>(4) 女性の転出超過対策について</p>	<p>① 少子化の要因として20代の転出を理由のひとつとしていますが、その対策について伺います。</p> <p>② 転出超過の要因調査のために、佐野市高校生プロジェクトメンバーOBに協力をしてもらい、調査をすることについて当局の見解を伺います。</p>
<p>(5) ひとり親家庭の支援について</p>	<p>① ひとり親家庭の支援を実施しているところですが、さらに拡充する必要があると考えます。当局の見解を伺います。</p>
<p>2. 交通指導員について</p>	
<p>(1) 交通指導員の現状について</p>	<p>① 現在の交通指導員の人数について伺います。</p> <p>② 現在の交通指導員の平均年齢をお伺います。</p>
<p>(2) 交通指導員の確保策について</p>	<p>① 欠員が出た場合の対応について伺います。</p> <p>② 過去5年の交通指導員の欠員状況について伺います。</p> <p>③ 過去5年の欠員状況が解消するまでの期間について伺います。</p> <p>④ 交通指導員の欠員を出さないような取組をどのように行っていくのか伺います。</p>